重要なまちづくりの課題の現状評価シート

重要なまちづくりの課題（めざすべき姿）	地域ぐるみで自主的な防犯対策がとられており犯罪が少ない		年度	平成28年度
			責任部長	企画部長
			主担当課長	地域ふれあい課長
施策名	地域における自主的な防犯活動を支援する	No.22	関係課	—

1. まちづくり指標の現状

まちづくり指標	指標のめざす方向	現状値	実績値					目標値
		H18	H20	H21	H22	H23	H24	5年後
		H24	H25	H26	H27	H28	H29	10年後
犯罪の危険を感じた人の割合（%）	↘	—	—	—	—	—	—	—
		—	26.3	28.2	18.8	21.1		19.3
自主防犯パトロール隊の結成数（団体）	↗	—	—	—	—	—	—	—
		118	128	130	132	136		134
犯罪発生件数（件）	↘	8,633	7,077	7,058	7,437	5,641	5,142	7,370
		5,142	4,733	4,092	3,797	3,742		4,146
犯罪発生率（%）	↘	—	—	—	—	—	—	—
		13.57	12.24	10.58	9.82	9.69		10.94

2. 外的要因（世論、自然環境、社会動向、民間・NPO活動等）

一宮市はH27警察署別犯罪認知件数が豊田署に次いでワースト2位である。この要因として、高速道路のインターや鉄道といった交通機関が利用しやすいことに加え、住宅、自転車等にカギを掛ける習慣がない市民が多くいることが考えられる。しかし、犯罪発生件数は、警察・行政・町内会や市民パトロール隊の啓発活動により、減少し続けており、幅広い年代層への啓発が行われている。また、自主防犯パトロール隊の結成数も増加傾向にある。

3. めざすべき姿に対する現状評価（まちづくり指標や外的要因等からの評価）

現状評価	A 改善傾向	犯罪の危険を感じた人の割合が昨年より増加したものの、当初からは大幅に減少している。また、自主防犯パトロール隊の結成数は目標値に達成し、幅広い見守り・啓発活動を行うことができている。犯罪発生件数、犯罪発生率も目標値を達成しており、めざすべき姿に向け改善傾向にあるといえる。

評価がB・Cの場合

4. 事務事業群に対する評価（行政活動の評価）

長期成果（事業群①）	長期成果（事業群②）	長期成果（事業群③）	長期成果（事業群④）

評価観点	1. 長期成果は重要なまちづくりの課題（めざすべき姿）の一歩手前の状態となっており、モレなくダブリなく設定されているか。 2. 各事業群の事務事業は、長期成果を達成するのに必要十分であるか。
評価	
次年度の改善計画	

＊＊＊